

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	郡山市立希望ヶ丘学園		
○保護者評価実施期間	令和7年11月4日		～ 令和7年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	令和7年11月4日		～ 令和7年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和7年11月4日		～ 令和7年11月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 35
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・当学園の児童発達支援を利用している児童については、連携してより支援ニーズに適した訪問支援が実施できるため充実している。	・訪問支援員が学園内での療育を兼務しており、児童の実態を十分に理解しアセスメントをした上で、幼保の施設に訪問している。	・学園での療育支援が他の施設でも活用できるように、さらに連携を深めていく。
2	・市の指定管理施設であり、児童発達支援センターにおける事業のため、市内の教育関係機関と連携を図りやすい。	・市の幼保小連携事業にも参加し、幼児教育と小学校教育との接続に関わっている。	・年度当初に保育所等訪問支援開始の依頼や説明などを学校園に訪問するなど、スムーズに保育所等訪問を展開できるように工夫していきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問員が児童発達支援の専門的個別支援も兼務しており、利用者数に応じた十分な保育所等訪問支援の時間を確保しにくい。	・訪問間隔や頻度、回数は適切かなど保護者や学校園と丁寧に相談し、効果的な実施について検討の必要がある。	・利用者の数やニーズに対して、保育所等訪問支援事業を担当する職員が応えられるだけの人員を確保し、サービスの充実を図る。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 郡山市立希望ヶ丘学園

公表日 令和8年 3月 6日
利用児童数 令和7年11月28日

回収数 27

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	19	0	0	8	・訪問については、特に教材等は見ていないためです。 ・教具、教材は揃えられていると思いますが、先生にお聞きしてみようと思います。 ・訪問支援でどのような教材を使うのかわからないので。	・訪問時に使用している教材や教具について、面談や支援報告の際に紹介するなど、具体的な支援内容がより伝わるよう工夫してまいります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	27	0	0	0	・訪問支援の後の面談は、いつもプライバシーに配慮していただいたお部屋でお話して下さるので安心です。 ・個室でプライバシーに配慮されているので、とても話しやすいです。 ・こちらの都合をきちんと確認して、いろいろなことを説明して下さるので、とても助かっています。子どものことも常に気にかけてくださっているのも伝わってきて、とても安心です。	
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	27	0	0	0	・保育所等訪問利用前、その都度説明いただいています。	
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	26	1	0	0	・相談している時、いつの間にか訪問してくださっている時がある気がします。多忙の中訪問に行ってくださいなので、特に何も言わずに感謝しています。 ・相談するとすぐに対応してくださります。 ・毎回、お話しいただいています。	・訪問日程の調整については、施設側との調整に加え、保護者様への事前共有をより徹底し、透明性の高いスケジュール管理に努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	24	2	1	0	・とても丁寧に対応して下さるので、逆に職員さんが足りていないのではないかが気になります。 ・職員全体で進めていると思います。	・温かいお言葉をありがとうございます。今後も質の高い支援を安定して提供できるよう、適切な人員配置と体制維持に努めてまいります。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	2	0	0	・兄弟それぞれの特性等に応じて支援していただいています。 ・専門性のある支援を受けられており、感謝しています。 ・小学校の先生ともこどものことでよく話し合っていて、いろいろな場面で助かっています。学園に行っていたところ、小学校へ行っている今の状態を見ただ意見が伝えてくれるので、小学校の先生も助かっているそうです。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	0	0	0	・こども、保護者側に十分理解してくださり、作成していただいています。	・引き続き、本人のニーズだけでなく保護者や担当の先生から生活や学習上の課題について聞き取りながら支援計画を作成いたします。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	25	0	0	1	・意向を確認して下さり、計画に入っていました。 ・担任の先生とお話ししていただいています。	
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	1	0	0	・具体的な支援内容をお話しいただいています。	
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1	0	0	・十分に行っていただいています。	
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	27	0	0	0	・幼稚園でもよりよい支援になるよう、的確なアドバイスをもらっています。 ・訪問時間等、担任の先生と話し合ってくださいしています。 ・保育所等訪問利用にあたり、丁寧にお話しいただきました。 ・いつも分かりやすく説明を受けることができていて、助かっています。	・担任の先生が考える支援目標、学習・生活上の課題に対応した助言や支援のアイデアが提供できるよう今後も留意いたします。
保護	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	0	0	・面談でお話ししていただいています。	
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	1	0	0	・面談でこどもへの対応を教えていたり、研修会に参加させていただきました。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	9	0	2	・電話や面談等でお話ししていただいています。	
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	25	1	0	1	・定期的にお話しさせていただき、助言	・定期的な面談や助言が実施できるように、利用者とのごまめな連携と連絡に心がけてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	2	1	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
者 へ の 説 明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	2	0	0	・共感的に支援していただいています。 大変ありがたいと思います。 ・何かあったら相談できる場所がある、と安心することができています。	
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1	0	0	・面談等で回答をいただき、対応していただいています。	
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1	0	0	・ご連絡をいただいています。	
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	27	0	0	0	・担任の先生と話し合ってください。	
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	27	0	0	0	・しっかりしていただけます。 ・話し合いをしていただいています。	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	27	0	0	0	・細かく様子を伝えていただけるので、良いことも悪いことも知れて良かったです。 ・ご連絡をいただき、子どもの様子を教えてください。	
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	12	0	1	・SNSやホームページをまめにチェックしないので、断言できません（私がハイテクを使いこなせていないだけです）。 ・計画後は、アセスメントが終了しました。	・デジタル媒体での情報発信に加え、重要な連絡や活動報告については、書面の配布や面談時の伝達など、確実にお手元に届く方法を併用してまいります。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	0	・十分に配慮していただいています。	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	19	7	0	1	・話し合ってくださいと思います。 ・幸い、非常時といえる事態に合っていないのですが、スタッフのみなさんはとても頼りになるので、安心して子どものことを相談できると思います。	
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	2	0	1	・安全の確保、十分していただいていると思います。	
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	25	2	0	0	・先生に安心感があり、訪問を嬉しく思っているようです。 ・先生に会えるのを楽しみにしています。自分を見つけてくれる先生が来てくれるのが嬉しいようです。 ・昔から知っていて、大好きな先生に会えるのを楽しみにしています。	・子どもに信頼される訪問員であるように、今後も配慮して関わって参ります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	25	2	0	0	・保育所等訪問支援の回数が少ない気がします。月に1～2回と記憶しています。もう少し回数を増やしていただきたいです。 ・今年度はあまり利用機会がありませんでしたが、来年度も引き続きお願いいたします。 ・いつも丁寧で分かりやすくお話しいただき、親子共に支援していただき、感謝しております。	・訪問回数については、お子様の状況や訪問先施設の受け入れ体制、契約内容に基づき検討が必要です。回数の調整を希望される場合は、個別にご相談を承ります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

郡山市立希望ヶ丘学園

公表日

令和8年 3月 6日

利用児童数

令和7年11月28日 回収数 35

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	32	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・長く児童の成長を見守ってくださっている先生のお話は、とても参考になります。 ・担任からは見えない児童の抱える問題やこれまでの様子（強みや弱み）、家庭での取り組みの様子を教えていただくことができ、大変ありがたかったです。 ・訪問支援をしてくださることで、対象児への助言やアドバイスをいただき、とても参考になっています。 ・子どもたちの様子を見て、いつも丁寧なアドバイスなどをいただきありがとうございます。 ・適切な支援方法を知ることができ、より良い環境作りにもつながると気づきました。 ・いつも細やかなアドバイスや、子どもについての丁寧な意見交換をしていただきありがとうございます。 ・声掛けの仕方や支援方法を教えていただき、ありがとうございます。 ・助言いただける言葉が園側の立場もよく理解して話して下さるので、心にとずっと入ってきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な助言が現場の先生方の安心感につながっているとの評価をいただき、大変励みになります。今後も、各施設が持つ独自の環境や人的資源をより深く理解した上で、現場で即座に実践できる具体的なアプローチを提案できるよう努めます。施設固有のニーズに合わせた支援を目指し、観察後のフィードバックの時間をさらに充実させてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	34	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・長く児童の成長を見守ってくださっている先生のお話は、とても参考になります。 ・保育所等訪問支援の重要性を強く感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員の専門知識や、現場スタッフの方々への肯定的な関わりを高く評価いただき感謝申し上げます。お子様の特性理解を深めることは、現場の先生方の自信とゆとりにつながると確信しております。今後も最新の療育知見を取り入れ、支援技術の向上を図る研修を継続し、先生方の良きパートナーとして寄り添った支援に努めてまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	34	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の考えや心配ごとを具体的に知ることができました。 ・訪問支援で来ていただいた先生から、対象児童の服薬に関するお話がありました。服薬に関しては、今後学校としても慎重に対応したいと考えています。 ・一人で抱え込まずに悩みも相談することができました。 ・安心して様々な相談ができ、訪問のたびにとっても助かっております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬管理など、医療との連携が必要なデリケートな課題に対しても、関係機関や保護者様との円滑な橋渡し役として、正確な情報の共有と共通理解の形成に努めてまいります。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	28	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校生活に慣れ、毎日明るく元気に過ごしています。 ・児童は訪問を楽しみにしており、待っている期間は「お利口にしよう」という気持ちで学校生活を送っています。 ・対象児童について他害が減り、落ち着いて過ごせるようになってきました。来年は年長児となるため、進学に向けてどのようなサポートをしていくとよいか一緒に考えさせていただけると嬉しいです。 ・最近学園さんとのやり取りで学んだこと、できるようになったことが園の生活の中でたくさん反映されているなど感じることも多々あります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習や社会性の獲得など、即効的な解決が難しい課題についても、現場の先生方と長期的な支援目標を共有し、お子様一人ひとりのペースに合わせたステップアップを粘り強く支えてまいります。状況の変化に応じた支援計画の柔軟な見直しも継続して行います。

5	事業所からの支援に満足していますか。	32	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から担任となったため、本人の以前の様子も確認することができたとても良い機会でした。お忙しい中、訪問をしていただきありがとうございました。 ・学園の先生は保育所時代からの生育歴をご存じて、成長を認め、褒めてくださっています。 ・訪問により、私が見るものが多く感謝しています。 ・他施設にも行っていますが、良く支援していただいていると思っています。 ・学校と家庭の相互理解を深めるため、つなぎ役として活動していただいていることで、保護者の安心感や学校に対する信頼感が増していると感じています。 ・就学に向けて学園側からも保護者にお話があり、より理解を得られながら進めていけたと思います。 ・学園とこども園での本児の様子を共有しながら、育ちを見守ることができました。 ・幼稚園の子どもたちにも私たちにもいつも寄り添ってくださり、本当にありがとうございます。
<p style="text-align: center;">その他のご意見</p>				<p style="text-align: center;">ご意見を踏まえた対応</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校生活に慣れ、毎日明るく元気に過ごしています。 ・保護者の方の思いを伝えていただき、ありがとうございます。長く児童の成長を見守ってくださっている先生のお話は、とても参考になります。 ・今年度から担任となったため、本人の以前の様子も確認することができたとても良い機会でした。お忙しい中、訪問をしていただきありがとうございました。 ・いつもお世話になりありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。 ・学園の先生は保育所時代からの生育歴をご存じて、成長を認め、褒めてくださっています。児童は訪問を楽しみにしており、待っている期間は「お利口にしよう」という気持ちで学校生活を送れています。 ・いつも様々なアドバイスをいただき大変参考になっております。対象児童についても他害が減り、落ち着いて過ごせるようになってきた中で、来年は年長児となるため、進学に向けてどのようなサポートをしていくとよいか等、支援員の方と一緒に考えさせていただけると大変嬉しいです。 ・就学に向けて、学園側からも保護者にお話があり、より理解を得られながら進めていけたと思います。ありがとうございます。この園でもできること、本人にとってより良い支援を今後も考えていけたらと思います。よろしくお願いいたします。 ・今年度2回（4月と10月）訪問していただきました。4月は学校生活に慣れていくためのきっかけの時期であり、学園での様子を教えていただき、学校でどう対応していけばよいか、的確なアドバイスをいただきました（トイレのこと、給食のこと、パーテーション利用、箸よりスプーン利用など）。10月は学校生活に適応した様子を見ていただきました。学習、生活、友達のかかわりなどについて成長ぶりを褒めていただきました。この回は幼稚園の先生も訪問されたので、成長をご自身の目で確認していただくことができました。本人をより伸ばしていくことや、2回とも園と学校が情報共有をして保護者へのかかわり方について共通理解を図って実行するための貴・いつも細やかなアドバイスや子どもについての丁寧な意見交換をしていただきまして、ありがとうございます。最近は学園さんとのやりとりで学んだこと、できるようになったことが園の生活の中でたくさん反映されているなど感じることも多々あります。今後、情報共有の時間をさらに持つことができるとありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。 ・担任からは見えない児童の抱える問題やこれまでの様子（強みや弱み）、家庭での取り組みの様子を教えていただくことができて、大変ありがたかったです。特に、保護者の考えや心配ごとを具体的に知ることができてよかったです。またよろしくお願いいたします。 ・訪問支援をしてくださることで、対象児への助言やアドバイスをいただき、とても参考になっています。今後とも引き続きよろしくお願いいたします。 ・訪問では子どもの様子を細かく見て、的確なアドバイスをいただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。 ・訪問ありがとうございます。今後も情報の共有をし、より良い支援につなげられたらと思います。よろしくお願いいたします。 ・保育所等訪問支援を行うことで、適切な支援方法を知ることができ、より良い環境作りにもつながると気づき、保育所等訪問支援の重要性を強く感じました。親身に対応していただきありがとうございます。 ・大変お世話になっております。訪問支援で来ていただいた先生から、対象児童の服薬に関するお話がありました。訪問支援の時点では、学園の方から担当医や保護者へ服薬について伝えるとのことでした。服薬に関しては、今後学校としても慎重に対応したいと考えています。もし差し支えなければ、以下の点について情報を提供していただけるとありがたいです。①服薬について医師へ伝えていただいた際の内容 ②服薬に関する医師の反応 ③医師の反応に対し、学園の方で行った支援や助言。お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。 				<ul style="list-style-type: none"> ・進級や進学という環境の大きな変化に対し、不安を感じておられる施設・保護者様は少なくありません。今後は、長期的な視点に立った支援計画の共有をさらに強化します。特に対象児童が年長児を迎える際には、就学先との円滑な引継ぎや、進学先での環境調整を見据えた具体的な助言を、施設側の状況に合わせて提案してまいります。 ・訪問時の限られた時間内では十分な対話が難しいという課題を認識しております。今後は、訪問後の事後協議の時間をあらかじめ計画的に確保するよう調整するとともに、現場の先生方が「一人で抱え込まない」ための多角的な連携体制を構築してまいります。 ・服薬については、園や学校での安全な生活に直結する重要な事項です。医師・保護者様・当センターの間でやり取りされた内容については、個人情報の取り扱いに十分留意した上で、学校側が必要とする情報をより具体的に、かつ迅速にフィードバックできる仕組みを整えます。情報については、個別に提供し対応いたします。 	

・お世話になっております。他施設にも行っていますが、良く支援していただいているように思っています。

・対象児童やその担任へのご助言をいつもありがとうございます。学校と家庭の相互理解を深めるため、つなぎ役として活動していただいていることで、保護者の安心感や学校に対する信頼感が増しているように感じております。

・学園とこども園での本児の様子を共有しながら、育ちを見守ることができ、一人で抱え込まずに悩みも相談することができました。

・学園とこども園での様子を共有することができ、参考になっています。大人数ではなかなか難しいこともありますが、声掛けの仕方や支援方法を教えていただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

・幼稚園の子どもたちにも私たちにもいつも寄り添ってくださり、本当にありがとうございます。安心していろいろな相談ができ、訪問のたびとても助かっております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

・いつもお世話になっております。ご助言いただける言葉が園側の立場もよく理解して話してくださるので、心にすっと入ってきます。情報交換もでき、日々の保育に役立てています。ありがとうございます。

・「理想的な支援」と「現場（集団保育）での実現可能性の乖離」を埋めることが当センターの役割です。今後は、大人数の集団の中でも無理なく取り入れられる環境設定や声掛けの工夫を、先生方と一緒に検討する姿勢を大事にしていきます。個別の配慮が集団全体の質の向上にもつながるような、現実的な解決策を模索してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 郡山市立希望ヶ丘学園

公表日

令和8年 3月 6日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
営 ・ 体 制	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2	0	・児の課題に対し、必要に応じて視覚情報等 を提供している。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	2	・現在2名のスタッフであるため、保護者の ニーズに応えられないこともある。	・増加する訪問支援のニーズに対し十分に 応えきれない場合があるため、計画的な職員配 置や体制の拡充が課題です。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	2	0		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	2	0		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	2	0		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	2	0	・事業所連絡会等に出席している。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	1	1	・アセスメントが不十分であると感じる。	・個々の子どものニーズや課題をより客観的 に分析できるよう、アセスメントの精度向上 と、その結果を適切に計画へ反映させるプロ セスの強化を図っていきます。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1	1	・訪問先の先生方とフィードバックが不十分 であると感じることがある。	・訪問先施設の担当者や担任とのフィード バックの機会をより確実に確保し、双方の意 向を支援計画に密接に反映させるための連携 体制を再構築していきます。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2	0		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	2	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	2	0	・適宜スタッフ間で情報の共有を図ってい る。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	2	0		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	2	0			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	2	0	・その都度保護者の意向を聞きながら、サー ビスの見直しを行っている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0	・必要に応じて会議に出席している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、 職員を外部研修に参加させているか。	1	1	・訪問支援に関する研修が少ないため、参加 することが少ない。	・訪問支援に特化した専門的な研修機会を開 拓し、職員の専門性維持・向上のために組織 的な受講計画を立てて実施できるよう努力し て参ります。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積 極的に参加しているか。	2	0		
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	2	0		

携	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	0		
保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	0		・訪問後に保護者との面談を行っている。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	1		・保護者同士の交流機会や、きょうだいへの支援プログラムの実施が不十分であるため、家族支援の一環として交流会等の開催を検討します。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	1		・ホームページや広報誌等を活用した定期的な情報発信を強化し、活動内容や進捗状況をより透明性を持って利用者や地域へ伝えていく仕組みを整えるよう検討していきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
訪 問 先 施 設 へ の 説 明 等	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
非 常 時 等 の 対 応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	0		
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0		